

体育（保健）

東 京 書 籍
大 日 本 図 書
大 修 館 書 店
文 教 社
光 文 書 院
G a k k e n

令和5年度

中高・飯水地区小学校教科用図書採択研究協議会

種目 (体育 保健)

<p style="text-align: center;">発行者名</p> <p>採択基準</p>	<p style="text-align: center;">東京書籍 (新編 新しい保健)</p>
<p>1 教科の目標からの配慮</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 身近な生活の中の課題を自分事として捉え、様々な学習活動を通して知識及び技能を習得することができるよう配慮されている。 ・ 学習した知識をもとに自分の考えを表現したり、他者と交流したりすることができるよう配慮されている。 ・ 他学年や他教科とのつながりや関連資料が示され、学びをつながげながら健康の保持増進を目指すことができるよう配慮されている。
<p>2 児童の学習活動への配慮</p> <p>○内容の程度</p> <p>○学習活動への誘意性</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真、図表、配色、コントラスト等</p> </div>	<ol style="list-style-type: none"> (1) 小単元での絵や写真、記述する量が学年に応じて変えられており、発達段階に応じた内容の配慮がされている。 (2) 小単元が「気づく・見つける」から「まとめる・生かす」の4つのステップで構成されており、児童の主體的・対話的な学びを支える工夫がされている。 (3) 「実習」「スキル」のコーナーが位置付けられており、児童が自分で試したり生活に介したりできるように工夫されている。 (4) 重要な語句を開設で詳しく説明したり、資料で関連する内容を扱ったりするなど、児童が理解しやすいよう配慮がされている。 (5) ステップ1 (気付く・見つける) では、実生活の身近な場面や印象的な資料を提示し、児童自身が課題に気づくことができ、主體的・対話的な学びにつながるよう配慮されている。
<p>3 学習指導への配慮</p> <p>○単元・題材の配列</p> <p>○内容の扱い</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>「基礎的・基本的な知識及び技能の習得」のための工夫、 「思考力、判断力、表現力等の育成」のための工夫、「学びに向かう力、人間性等の涵養」のための工夫、関連性・連続性、個に応じた指導、他者との協働、まとめと評価</p> </div>	<ol style="list-style-type: none"> (1) 「どんな自分になりたいかな」「どんな自分になれたかな」のコーナーが設けられ、3から6年の学びの系統性が図られている。 (2) 章扉に、学習に関連する他学年や他教科との関連、SDGsの内容が示されており関連付けに工夫が見られる。 (3) ステップ1で児童の気づきを引き出し、次のページに学習課題が設定されており、自ら課題を発見し主体的に取り組むことができるよう工夫されている。 (4) 「スキル」のコーナーで命や健康を守る実践的な方法が紹介されており、心身の健康や安全についての配慮がされている。 (5) QRコンテンツが充実しており、思考ツール・実験動画・図鑑等、児童の関心を高めたり、理解を深めたりすることができるよう工夫されている。 (6) 気づきや考えを記入する欄は、実験結果や自分の経験からあてはまるものを選択したり、考えを整理したりしながら記入ことができ、課題解決に向けて考えたり表現したりできるよう工夫されている。
<p>4 全体的な特色</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 全ての学習内容において4ページからなる4ステップで構成され、ステップ1 (気付く・見つける) →ステップ2 (調べる・解決する) →ステップ3 (深める・伝える) →ステップ4 (まとめる・生かす) となっており、主體的・対話的で深い学びとなるように工夫されている。 ・ 各小単元の終わりに、「資料」や「スキル」が示され、学習したことを発展的に深めることができるように工夫がされている。

種目 (体育 保健)

<p>発行者名</p> <p>採択基準</p>	<p>大日本図書 (新版 たのしい保健)</p>
<p>1 教科の目標からの配慮</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 単元のまとめに学習内容を確認する欄があったり、ウェブサイト で問題を設けたり、知識の定着を図る配慮がされている。 ・ 教科書に直接自分の考えを記入したり、友だちとの話し合いの観 点が明確に表示して話し合いをしたりすることで、思考力・判断 力・表現力等が身に付くよう配慮がされている。 ・ 身に付けた内容を家庭や地域において主体的に実践できるよう に明記されている。
<p>2 児童の学習活動への配慮</p> <p>○内容の程度</p> <p>○学習活動への誘意性</p> <p>本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真、図表、配色、コントラスト等</p>	<ol style="list-style-type: none"> (1) 1時間の学習内容を見開き1ページ分にまとめ、発達段階に応じた分量となるよう配慮がされている。 (2) 大単元の導入では、キャラクター探しや手の平の大きさ比べ・フローチャート図などの学習ゲームを用いて、興味・関心をもって主体的に課題解決に向けて学習できるよう工夫がされている。 (3) 不安や悩みへの対処で体ほぐし運動を紹介し、体育(運動領域)との関連を示し、実感を伴って理解できるよう配慮がされている。 (4) 「つかもう」「考えよう」「話し合おう」等の見出しがわかりやすく書かれており、発展課題やミニ知識の掲載なども端的にまとめられるように工夫がされている。 (5) 全体的にイラストを多く使用することで説明文を補足し、わかりやすいように工夫されている。
<p>3 学習指導への配慮</p> <p>○単元・題材の配列</p> <p>○内容の扱い</p> <p>「基礎的・基本的な知識及び技能の習得」のための工夫、「思考力、判断力、表現力等の育成」のための工夫、「学ぶに向かう力、人間性等の涵養」のための工夫、関連性・連続性、個に応じた指導、他者との協働、まとめと評価</p>	<ol style="list-style-type: none"> (1) 巻末ページに次学年の展望が示してあると共に、将来に向けて夢や目標を記入する欄があり、学びの系統化が図られている。 (2) 関連しているページが分かるように矢印で示されていたり、発展的課題や中学校の単元が示されていたりして、関連付けに工夫がみられる。 (3) 折りこみカードを使用することで、毎時間同じ方法で学習を進められるようにしたり、「活動を行うときのヒント」を確認したりすることで、多様な指導方法ができるよう工夫がされている。 (4) リラックスするための呼吸法やけがの手当について実習するコーナーを設け、心身の健康や安全への配慮がされている。 (5) 「もっと知りたい」のページには多くの写真やイラスト、図表が示され、場面や状況が理解しやすいよう工夫がされている。 (6) 1時間ごとに「つかもう」から「活かそう」の見出しを追うことで学びを進められるように位置付けられている。また、大単元のまとめとして、「ふり返ろう」「明日へつなげよう」を位置付け、評価の観点が明確になるよう工夫がされている。
<p>4 全体的な特色</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 大単元導入時に学習ゲーム「わたしたちはどこかな?」を行い、絵から日常に潜む保健的な課題を見だし、保健の見方・考え方を働かせることができるよう工夫がされている。 ・ 様々な学習活動を通して課題を解決し、大単元の終末には、記号と記述によるまとめができるよう工夫がされている

種目 (体育 保健)

<p>発行者名</p> <p>採択基準</p>	<p>大修館書店 (新小学校保健)</p>
<p>1 教科の目標からの配慮</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 身近な生活の中から課題を発見し、四つの学習活動を通して知識及び技能を習得できるよう配慮がされている。 ・ 学習した知識を生かして考えたり、他の人と交流したりして学習をまとめるができるよう配慮がされている。 ・ 日常生活や運動領域と保健とのつながりが示され、健康の保持増進を目指していくことができるよう配慮がされている。
<p>2 児童の学習活動への配慮</p> <p>○内容の程度</p> <p>○学習活動への誘意性</p> <p>本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真、図表、配色、イラスト等</p>	<ol style="list-style-type: none"> (1) 3・4年では20点、5・6年では31点の資料が提示されており、発展的な学習内容も含まれているので学年に応じてより発展的に学べるよう工夫がされている。 (2) 1時間の学習の最後にウェブクイズの「ほけんクイズ」が設定されており、児童の学習意欲を喚起し、主体的な学びを支える工夫がなされている。 (3) 「体育の窓」のコーナーが設けられ、運動領域と保健の学習との関連が捉えやすいよう配慮がされている。 (4) 「導入」「課題解決活動」「まとめ」の各段階で見出しの色やマークが分けられ、学習の流れを把握できるよう工夫がされている。 (5) 各章扉で、各界で活躍する著名人のインタビューを掲載し、興味や関心をもって学習をスタートできるよう工夫がされている。
<p>3 学習指導への配慮</p> <p>○単元・題材の配列</p> <p>○内容の扱い</p> <p>「基礎的・基本的な知識及び技能の習得」のための工夫、「思考力、判断力、表現力等の育成」のための工夫、「学びに向かう力、人間性等の涵養」のための工夫、関連性・連続性、個に応じた指導、他者との協働、まとめと評価</p>	<ol style="list-style-type: none"> (1) 「5・6年で学習すること」や「3・4年で学習したこと」が巻末や目次に示され、学習事項の系統化が図られている。 (2) 生活習慣病の学習が虫歯から始められ、児童にとって身近な問題から導入していけるような配列の工夫がされている。 (3) 課題解決に向けて「考えよう」「話し合おう」「調べよう」「やってみよう」の四つの活動が設けられ、多様な方法や形態で追究できるよう工夫がされている。 (4) 資料の「はってん」で命や健康を守る実践的な方法が紹介されており、心身の健康や安全についての配慮がされている。 (5) 児童になじみのない語句について、写真やイラストで例が示されており、意味が理解しやすいよう配慮がされている。 (6) 各章の最後に「学習をふり返ってみよう」のページがあり、自分の取組の様子や知識の定着、これからの生活に生かせるように工夫がされている。
<p>4 全体的な特色</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 内容の配列を入れ替えたり、導入で著名人のインタビューを掲載したりすることにより、児童が興味や関心をもって取り組めるよう工夫がされている。 ・ 発達段階に応じた量の資料や「体育の窓」の掲載により、学んだ知識の活用や発展学習ができるよう配慮がされている。

種目 (体育 保健)

<p style="text-align: center;">発行者名</p> <p>採択基準</p>	<p style="text-align: center;">文教社 (新わたしたちの保健)</p>
<p>1 教科の目標からの配慮</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 各単元で端的にまとめられた「学習のまとめ」が設けられ、その時間で学習した知識の定着を図る配慮がされている。 ・ 追究場面では、「調べる」「話し合う」「やってみる」活動を位置付け、思考力、判断力、表現力等が身に付くよう配慮がされている。 ・ 単元のまとめで、これからの自分を記述する欄を設け、自分の生活の中での実践につなげられるよう配慮がされている。
<p>2 児童の学習活動への配慮</p> <p>○内容の程度</p> <p>○学習活動への誘意性</p> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; margin-top: 10px;"> <p>本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真、図表、配色、コントラスト等</p> </div>	<p>(1) 3・4年では選択式、5・6年では資料や記述による課題把握をしており、発達段階に応じて配慮がされている。</p> <p>(2) 単元導入時に、生活場面をイメージした写真を掲示したり、自分の生活を振り返り、課題を明らかにして話し合ったりすることを通して、主体的・対話的な学習ができるよう工夫がされている。</p> <p>(3) 不安や悩みの対処では、運動領域の「体ほぐしの運動」が紹介され、実感を伴って理解できるよう配慮がされている。</p> <p>(4) 「ここが大事」のコーナーを設ける等、大切な用語や内容を理解しながら、学習を進められるよう工夫がされている。</p> <p>(5) 印象に残したい言葉や数字を太字で示したり、「エピソード」としてミニ知識を紹介したりして、学習意欲を高められるよう配慮がなされている。</p>
<p>3 学習指導への配慮</p> <p>○単元・題材の配列</p> <p>○内容の扱い</p> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; margin-top: 10px;"> <p>「基礎的・基本的な知識及び技能の習得」のための工夫、「思考力、判断力、表現力等の育成」のための工夫、「学びに向かう力、人間性等の涵養」のための工夫、関連性・連続性、個に応じた指導、他者との協働、まとめと評価</p> </div>	<p>(1) 学習指導要領に示された内容について段階を踏んで学習できるよう、「学習のめあて」や「本時のメニュー」が書かれており、系統性を意識した順序で示されている。</p> <p>(2) ページ下部の「つぶやきくん」に他学年の学習内容が示されており、他学年の学習内容との関連付けに工夫がなされている。</p> <p>(3) 交通事故防止や地域での安全では、実際のデータを示すことで、保健の見方・考え方を働かせながら、主体的に活動に取り組めるよう工夫がされている。</p> <p>(4) 自転車の安全点検に関わる写真や、ヘルメット着用にかかわる写真が載っており、交通安全への配慮がされている。</p> <p>(5) 対比できる写真を使用し、よい習慣とよくない習慣を比較して考えられるよう工夫がされている。</p> <p>(6) 各単元の章末に、「これからの自分の課題を考えよう」の欄があり、単元の学習を振り返るとともに、まとめや評価の観点が明確になるよう工夫がされている。</p>
<p>4 全体的な特色</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 実生活と結び付きやすい写真やデータを示し、保健の見方・考え方を働かせ、これからの生活をよりよくしようとする意欲が高まる工夫がされている。 ・ 各単元のまとめに「わたしの○○宣言」の欄が設けられ、自分事として生活をよりよいものにしようとする意欲が高まる工夫がされている。

種目 (体育 保健)

採択基準	発行者名 光文書院(小学保健)
<p>1 教科の目標からの配慮</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 章末に学習してきた重要な言葉を選択して答える問題を設けることで、知識が定着するよう配慮がされている。 ・ 話し合っ考える活動や、周りの意見を聞く活動を取り入れ、他者と考えを交流できるよう配慮がされている。 ・ 児童が自分の健康課題を解決し、学んだことを実生活に生かせるよう配慮がされている。
<p>2 児童の学習活動への配慮</p> <p>○内容の程度</p> <p>○学習活動への誘索性</p> <p>本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真、図表、配色、コントラスト等</p>	<ol style="list-style-type: none"> (1) 単元のはじめに4コマ漫画が示され、これから学習する内容が発達段階に応じて理解しやすいよう配慮がされている。 (2) 「見つけよう」の活動を設定し、はじめに自分の生活を振り返り、問題意識を高めてから課題を提示することで、主体的に学習に取り組めるよう工夫がされている。 (3) 「やってみよう」の活動を設定することで、体育(運動領域)と関連させて実感を伴って理解できるよう配慮がされている。 (4) 学習のまとめには星印をつけ、大切な文章であることが分かりやすいよう工夫がされている。 (5) 黒板のイラストの中に「学習の課題」を設けることで、的確に学習課題をつかみ、学習意欲を喚起するよう配慮がされている。
<p>3 学習指導への配慮</p> <p>○単元・題材の配列</p> <p>○内容の扱い</p> <p>「基礎的・基本的な知識及び技能の習得」のための工夫、「思考力、判断力、表現力等の育成」のための工夫、「学びに向かう力、人間性等の涵養」のための工夫、関連性・連続性、個に応じた指導、他者との協働、まとめと評価</p>	<ol style="list-style-type: none"> (1) 学習内容のねらいに即し、4年間を見通して系統的な順序で配列されている。 (2) ページ下部に他学年の内容や他教科の関連が示されており、各内容の配列や関連付けに工夫が見られる。 (3) 課題解決に向け、自分自身の生活と比べたり、自分の考えを他者に伝える学習活動を提示したりし、多様な方法で課題追究ができるよう工夫がされている。 (4) 外出時の安全や自然災害の備えに関するイラストが記載されており、実践につなげられるよう配慮がされている。 (5) 様々な分野で活躍している人物の写真があり、保健の学習と実生活の関わりが理解しやすいよう工夫がされている。 (6) 各章末に「学習のまとめ」があり、自己評価したり自分の生活に生かしたいことを考えたりする活動を設定し、評価の観点が明確になるよう工夫がされている。
<p>4 全体的な特色</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 各章や毎時間の始めに、日常生活における課題や情報と保健で学習する内容を結び付けられる活動を設定し、児童が主体的に学習に取り組むことができるように工夫されている。 ・ 見開き1ページを基本として学習の流れや進め方が分かりやすいよう紙面構成され、基本的・基礎的な知識及び技能を習得できるよう工夫がされている。

種目（体育 保健）

採択基準	発行者名 Gakken（新・みんなの保健）
<p>1 教科の目標からの配慮</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・生活を振り返ったり、実習などの活動を取り入れたりすることで、健康や安全について理解が深まるよう配慮がされている。 ・三つのピースを通して、自己の課題を見付け、その解決に向けて、思考力、判断力、表現力等が身に付くよう配慮がされている。 ・生活と重ねて自分事として考えたり、他教科と関連付けたりすることで、実践意欲を高められるよう配慮がされている。
<p>2 児童の学習活動への配慮</p> <p>○内容の程度</p> <p>○学習活動への誘索性</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真、図表、配色、コントラスト等</p> </div>	<ol style="list-style-type: none"> (1) 写真やイラストを大きく配置することで、学年の発達段階に応じて学習の興味・関心が高められるよう配慮がされている。 (2) 大単元の導入に身近な生活場面の写真を用いて自己の生活に重ねて問いを設定できるようにし、「ふり返る」「話し合う」等の活動により、主体的・対話的に学習できるよう工夫がされている。 (3) 不安や悩みへの対処で体ほぐし運動を紹介し、体育（運動領域）との関連を示し実感を伴って理解できるよう配慮がされている。 (4) 言葉の詳しい説明や関連する情報をページ下に記載し、分かりやすさに配慮した工夫がされている。 (5) 写真やイラストにより場面や状況を視覚的にイメージしやすくし、学習意欲を高められるよう配慮がされている。
<p>3 学習指導への配慮</p> <p>○単元・題材の配列</p> <p>○内容の扱い</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>「基礎的・基本的な知識及び技能の習得」のための工夫、「思考力、判断力、表現力等の育成」のための工夫、「学ぶに向かう力、人間性等の涵養」のための工夫、関連性・連続性、個に応じた指導、他者との協働、まとめと評価</p> </div>	<ol style="list-style-type: none"> (1) 巻末ページに次学年や中学校での学習内容が示され、系統化が図られている。 (2) 「つなぐ」のマークで他教科や他学年の学習内容やキャリア教育と関連付けて学習することができるよう工夫がされている。 (3) 三つのピースで「資料を読み取る」「意見を出し合う」「実習」など多様な学習形態が設定され、主体的に相互に関わり合いながら学習を進められるよう工夫がされている。 (4) 外出時や自然災害への備えについて「安全な生活のために」のコーナーを設け、心身の健康や安全への配慮がされている。 (5) 科学的資料「かがくの目」、「ほけんのはこ」コーナーでは発展的な資料を扱い、より学びを広げるための工夫がされている。 (6) 大単元のまとめとして「ふり返る」「伝える」「つなぐ」を位置付けたり、記入欄を多く設けたりして、評価の観点が明確になるよう工夫がされている。
<p>4 全体的な特色</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・日々の生活行動を振り返り、健康との関連から課題を見だし、他者と交流しながら多様な学習活動を通して、保健の見方・考え方を働かせることができるよう工夫がされている。 ・随所に記入欄を多く設け、ワークシートが一体になっているような形なので、教科書に沿って考えていくことで完結できるよう工夫がされている。